

# 2011年ニュージーランド地震被災建築物の調査計画書

2011年3月

日本建築学会 地盤・基礎構造系被害調査チーム

## 1. 活動の目的

2011年2月22日12時51分（現地時間）、ニュージーランドの南島クライストチャーチ南東10キロを震源とするM6.3（USGS）の地震が発生、同地域において多数の建物等が倒壊あるいは損壊し、200人弱の死者を含む多くの被災者が発生しています（3月3日現在）。本地震では、多数の組積造や鉄筋コンクリート造の建築物に甚大な被害が生じているとともに非常に広域な範囲で液状化が発生していると伝えられております。災害委員会としては、本地震に対して、建築物（上部構造物）を対象とした被害調査だけでなく、建築物基礎や地盤の被害調査を実施し、日本の建築基礎構造物の耐震技術への応用の可能性についても調査を行うことを計画しております。本調査チームは、1) 液状化発生地域および建築物基礎被害の把握、2) 液状化や地盤変状による建物沈下等への影響の調査、3) 地盤構造が建物被害へ与えた影響の検討等を目的としています。

## 2. 調査予定項目

上記当初調査目的にしたがって、以下の項目について調査研究を行う

- (1) クライストチャーチ市および周辺被災地域での液状化や地盤変状の地震被害概要の把握
- (2) 同地域での液状化等による建築物基礎被害概要の把握
- (3) 微動観測に基づく表層地盤構造の推定・調査
- (4) 上記結果のとりまとめと報告書の公開

## 3. 活動組織

団長： 中井 正一 （千葉大学）  
Shoichi Nakai, Chiba University  
団員： 田村 修次 （京都大学）  
Shuji Tamura, Kyoto University  
護 雅史 （名古屋大学）  
Masafumi Mori, Nagoya University  
関口 徹 （千葉大学）  
Toru Sekiguchi, Chiba University

## 4. 活動期間および滞在先

活動は以下の日程で行う。

3/13 日本発  
3/14 Christchurch 着、市内の被害調査  
3/11-3/17 Christchurch 市被災地の被害調査および微動観測  
3/17 Christchurch 発（中井）  
3/18 Christchurch 発（田村・護・関口）